

# 2024年12月期 第2四半期 決算説明会

2024年7月30日  
日本電気硝子株式会社

# 2024年12月期 第2四半期 業績概要

# 2Q（累計）連結業績の概要

					(億円)	
	1Q	24/12期 2Q	2Q累計	23/12期 2Q累計	増減 (%)	
売上高	766	780	1,547	1,391	11%	<b>営業損益の増減要因</b>
営業利益 (利益率)	7 (1.0%)	21 (2.7%)	28 (1.9%)	△57 (△4.1%)	-	主な項目 (+) ディスプレイ事業の稼働率上昇、半導体向け製品の好調な販売 (-) 自動車部品向けの値下げ、原材料及びエネルギー価格の高止まり、物流費の高騰
営業外損益	38	35	74	26	177%	<b>営業外損益の増減要因</b>
経常利益	46	56	102	△30	-	・ 為替差益の増加 (+34億円) …主に海外子会社の借入に係る債権債務の評価替えによるもの
特別損益	228	80	309	△110	-	<b>特別損益の増減要因</b>
親会社株主に帰属する 中間（四半期）純利益	196	105	302	△157	-	・ 固定資産売却益 (+228億円) …藤沢事業場跡地の売却等 ・ 投資有価証券売却益 (+76億円)
1株当たり 中間（四半期）純利益（円）	224.61	122.24	347.08	△168.85	-	
1株当たり配当金（円）	-	-	65	60	-	

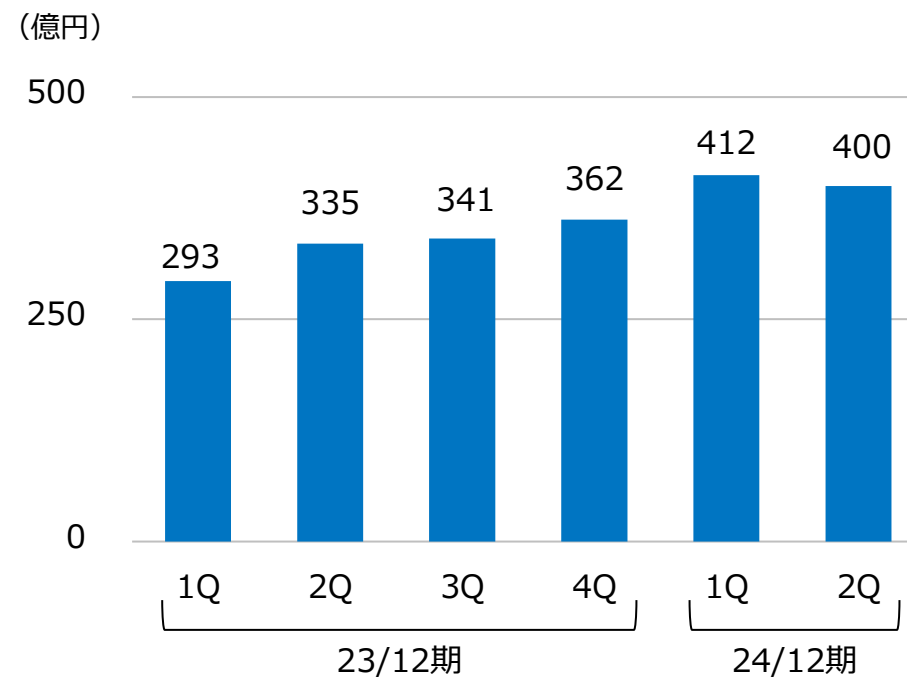
## ディスプレイ

- 市況の回復により出荷増加
- 設備は高い稼働率を維持
- 販売価格上昇

## 電子デバイス

- 半導体向け製品の需要が好調継続
- その他の製品も需要は緩やかに回復

## ■ 四半期売上高の推移



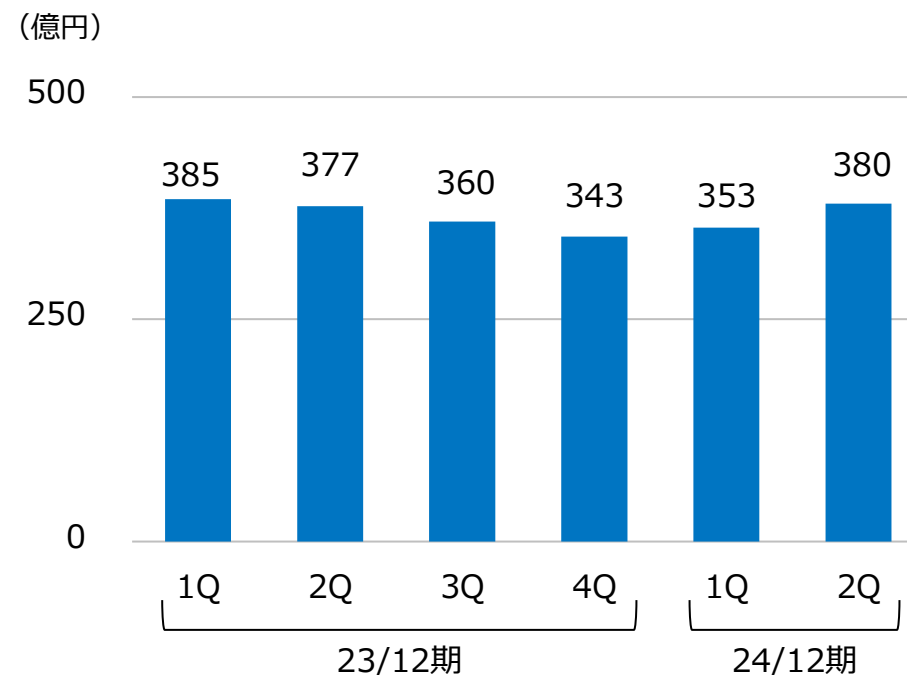
## 複合材

- 自動車部品向けは中国企業との厳しい競争環境継続により販売苦戦
- 北米の住設用途は堅調に推移
- 物流費高騰の影響を受ける

## 医療・耐熱・建築

- 医療：医薬容器向けは需要が低迷
- 耐熱：欧州ストーブ用、調理器用の需要が軟調
- 建築：防火設備用を中心に需要は堅調

## ■ 四半期売上高の推移



# 2024年12月期業績予想及び配当予想

# 連結業績予想及び配当予想の概要



2024年12月期

(億円)

	上期実績	通期予想	(参考) 23/12期	2023年比 増減割合
売上高	1,547	3,100	2,799	10.7%
営業利益	28	50	△104	-
営業利益率	1.9%	1.6%	△3.7%	-
経常利益	102	100	△94	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	302	300	△261	-
配当予想 (円/株)	65	130	120	-

## 経済見通しと取り組み

中国など諸外国の景気減速、コストの上昇等を背景に厳しい事業環境が続くものと予想

価格改定及び生産性改善に取り組み、利益の積み上げを図る

## 想定為替レート

1 ドル = 150円

1 ユーロ = 160円

## ディスプレイ

- 中国市場を中心に得意先の在庫調整の動きが見られるものの、底堅い需要が続く見込み
- 設備の修繕費用が増加
- 価格改定により利益の積み上げを図る

## 電子デバイス

- 半導体用サポートガラスを中心に半導体向け製品の拡大継続。生産能力の増強を進める
- 家電、自動車、光エレクトロニクス関連は緩やかな回復が継続
- ガラスセラミックスコア基板（CGコア™）の事業化を進める

## 複合材

- 需要は横ばい、中国企業との厳しい競争環境が継続
- 物流費は更に高騰を見込む
- 価格改定・サーチャージによるコスト回収及び生産性改善により利益回復を図る

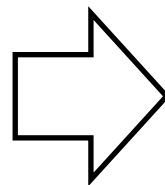
## 医療・耐熱・建築

- 医療：需要は横ばい継続
- 耐熱：ストーブ、調理器用の需要は横ばい継続
- 建築：防火設備用ガラスの拡販活動を継続



## 事業環境

- 自動車部品向けを中心に需要は横ばいが続き、中国企業との厳しい競争環境により、販売が苦戦
- 稼働調整による原価高継続
- 原材料及びエネルギーコストの高止まりに加え、地政学リスクに伴う物流費高騰の影響を受ける



## 収益改善の方針

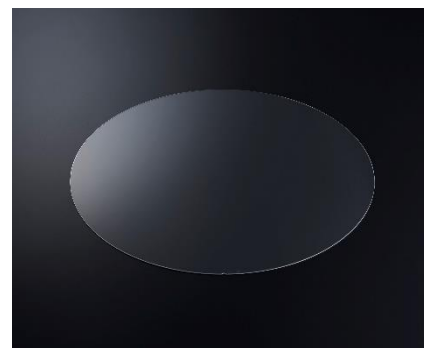
- **販売戦略**  
当第2四半期から価格改定や海上運賃のサーチャージによるコスト回収を強化
- **生産効率改善**
  - ①電気溶融比率の向上によるエネルギーコスト削減・生産効率改善
  - ②設備改良による設備あたりの生産量・効率向上  
⇒製造原価の大幅な削減を図る
- **生産品種構成の見直し**
  - マレーシア…生産規模、高効率設備を活かし自動車部品向けの製品を生産
  - 欧米…住宅関連市場向けの生産強化
  - 日本…高付加価値製品（フラットガラスファイバ等）の生産強化

## 半導体用サポートガラス

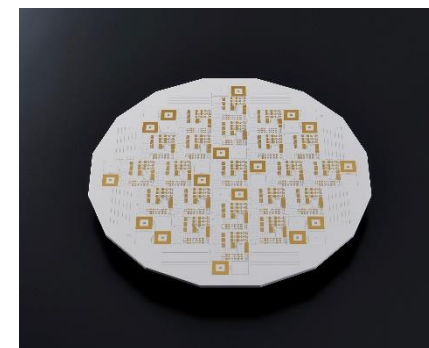
- FOWLP (Fan Out Wafer Level Package) におけるキャリア基板としての用途に加え、2.5D、3Dパッケージングのキャリアや半導体を薄く研磨するための支持基板として使用
- 好調な需要動向を踏まえ、売上高は2028年に年間200億円を目指す

## プローブカード用基板

- シリコンウェハー上に形成された半導体チップの電氣的検査器具に使用される基板
- 半導体の微細化に伴い、低抵抗の銀配線を使用できるLTCC基板の需要が拡大
- メモリー向けで2024年内に量産開始見込み
- 売上は2028年に年間100億円を目指す

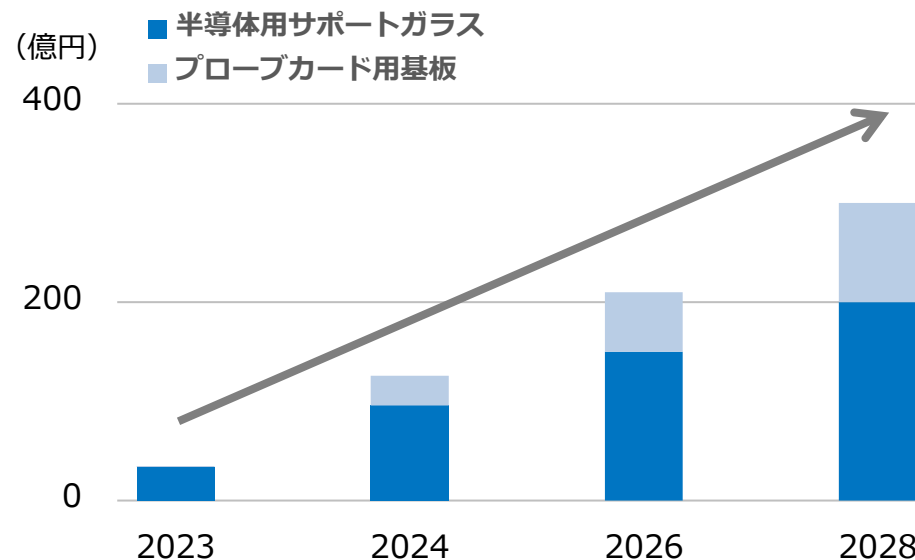


半導体用サポートガラス



プローブカード用基板

■半導体関連製品の売上高 (見通し)



## 次世代半導体パッケージ向けガラスセラミックスコア基板「GCコア™」

データセンターの需要拡大やAIなどの普及によるデータ通信量の増大

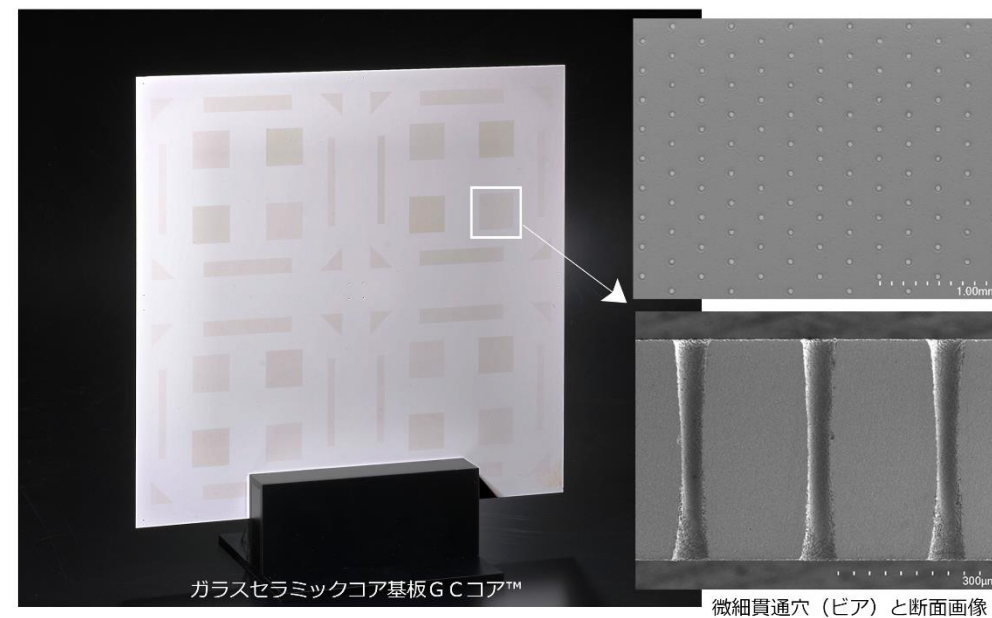
→ 高性能半導体需要の増加

### ● 特長

- ① CO<sub>2</sub>レーザーにより穴あけ加工が可能
- ② 低い誘電率と誘電正接
- ③ 基板の薄型化が可能
- ④ ニーズに合わせた特性の変更が容易

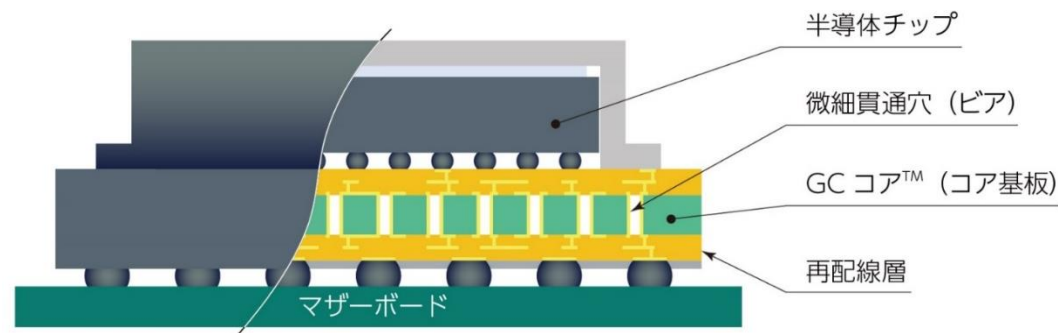
### ● 今後

ガラスコア、GCコアそれぞれの基礎的な開発を継続しつつ、基板の大型化を進める。  
2～3年後の事業化を狙う。



ガラスセラミックコア基板GCコア™

微細貫通穴（ビア）と断面画像



## 2024年7月29日取締役会決議

### 1. 自己株式の取得を行う理由

中期経営計画「EGP2028」における財務戦略に基づき、資本効率の向上及び株主への一層の利益還元を図るため

### 2. 取得に係る事項の内容

- ①取得する株式の種類： 当社普通株式
- ②取得する株式の総数： 700万株（上限）  
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合8.08%）
- ③株式の取得総額の総額： 200億円（上限）
- ④取得期間： 2024年7月30日から2025年1月31日
- ⑤取得方法： 東京証券取引所における市場買付

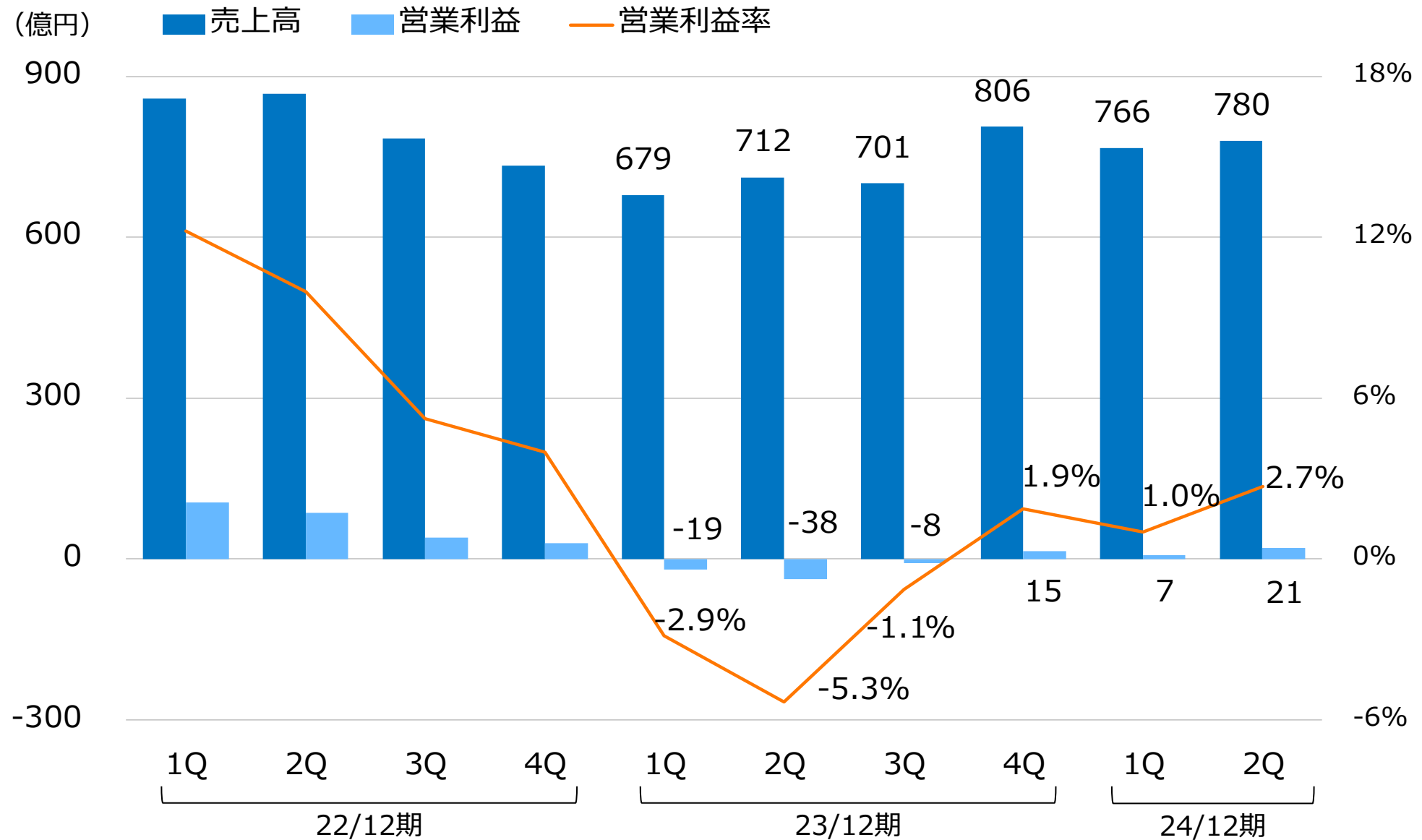
### 3. 消却に係る事項の内容

- ①消却する株式の種類： 当社普通株式
- ②消却する株式の総数： 1,000万株
- ③消却予定日： 2025年1月31日

# 質疑応答

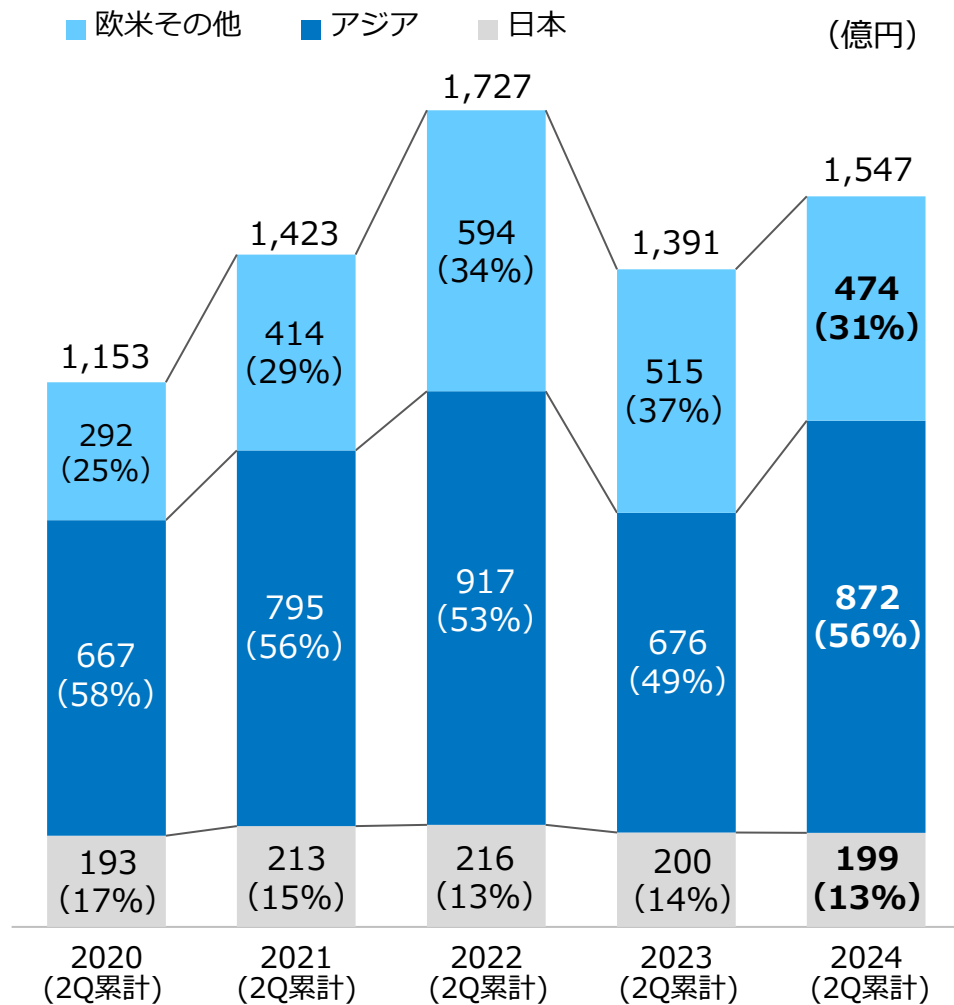
# 参考資料

# 四半期業績の推移

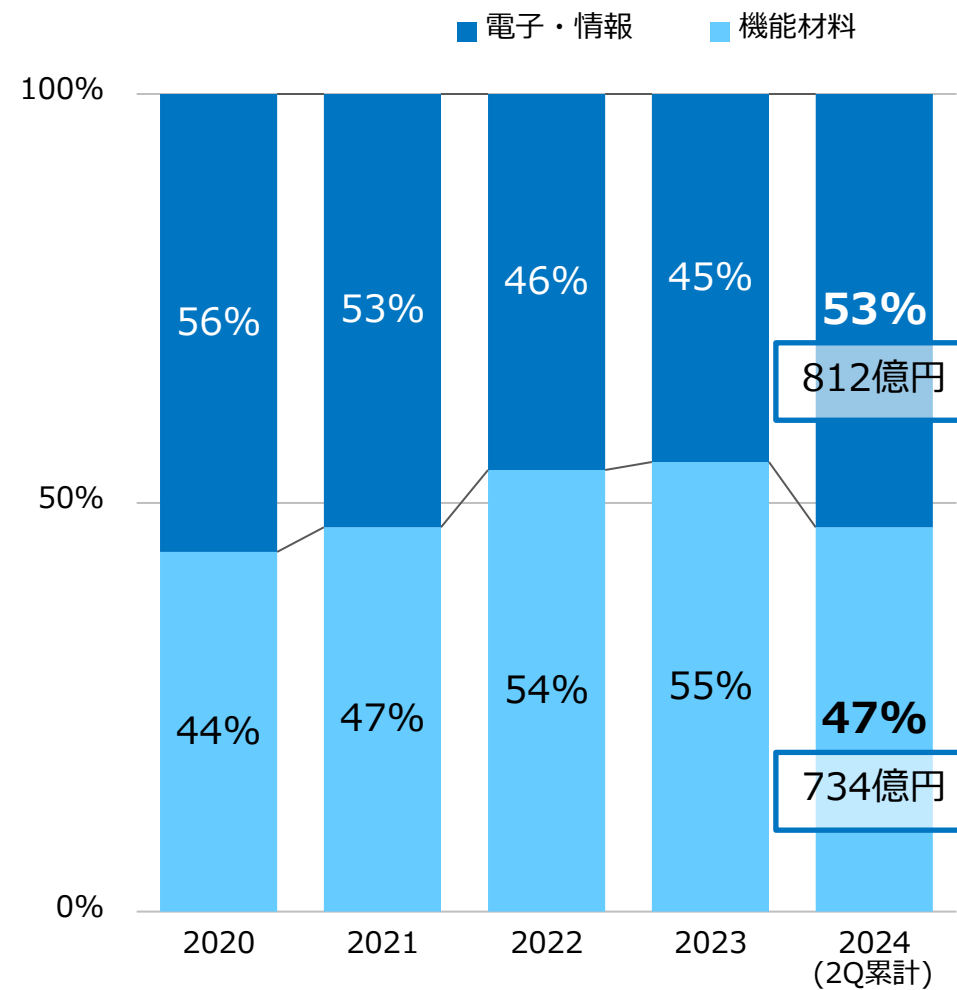


# 地域別・事業分野別の売上高推移

## ■ 地域別売上高推移

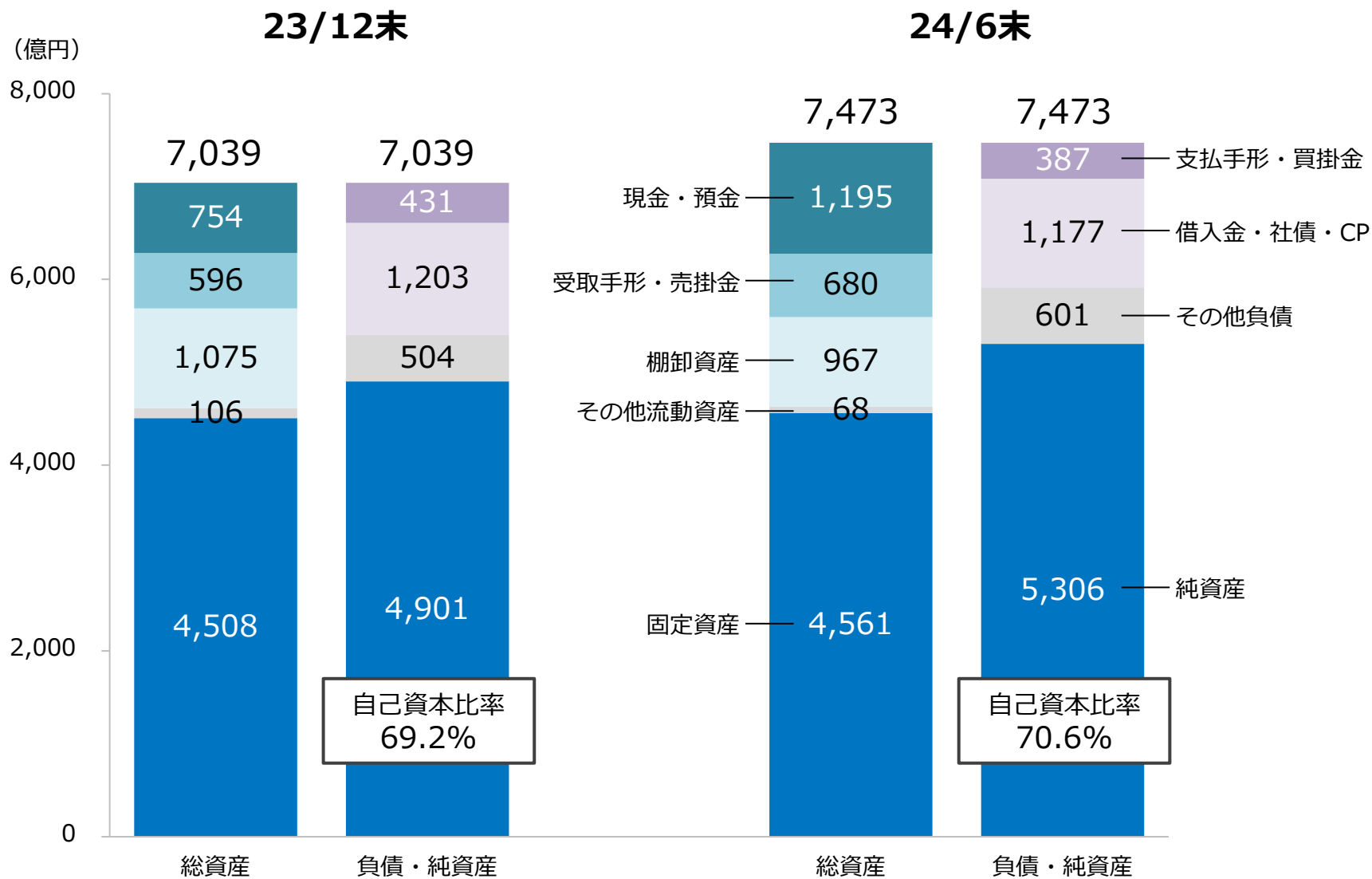


## ■ 事業分野別売上高推移



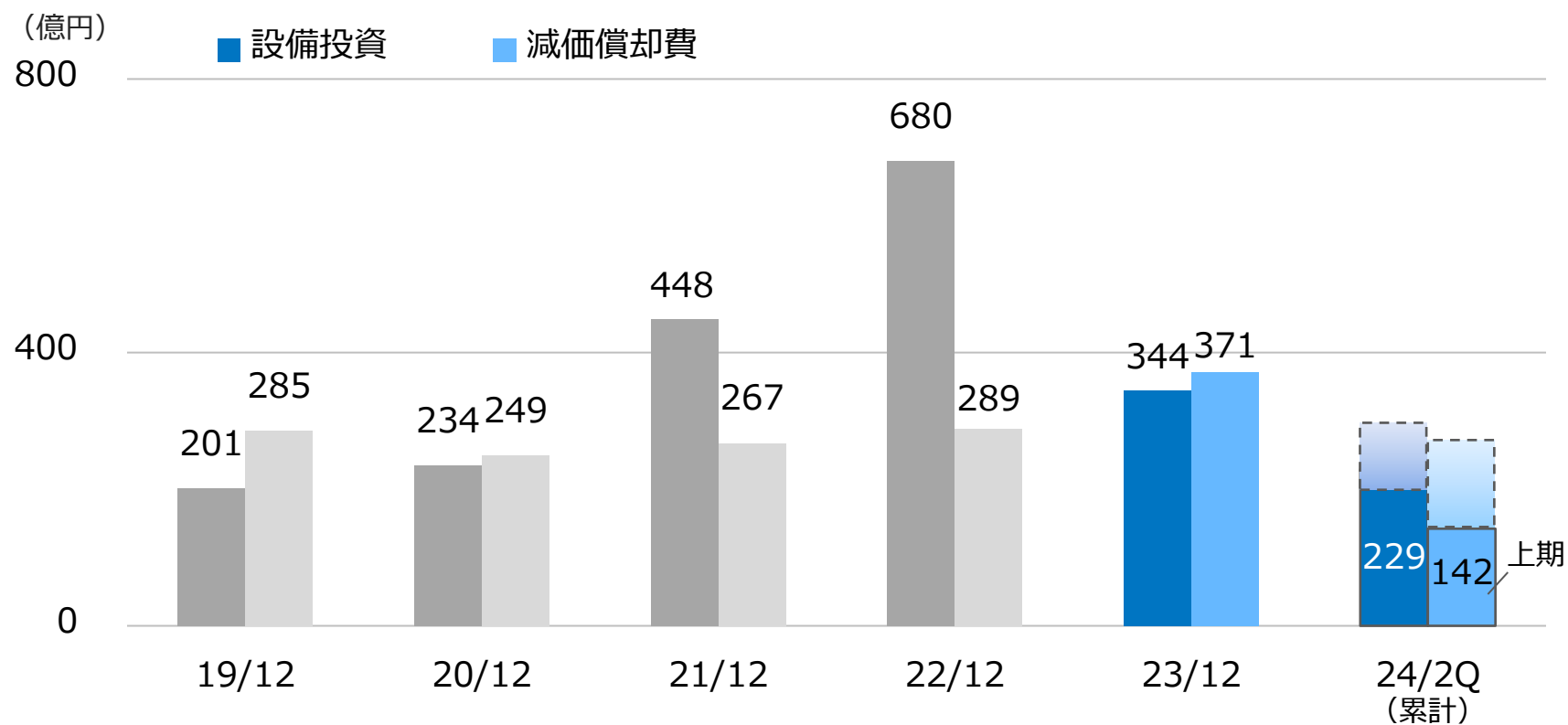


# 連結貸借対照表

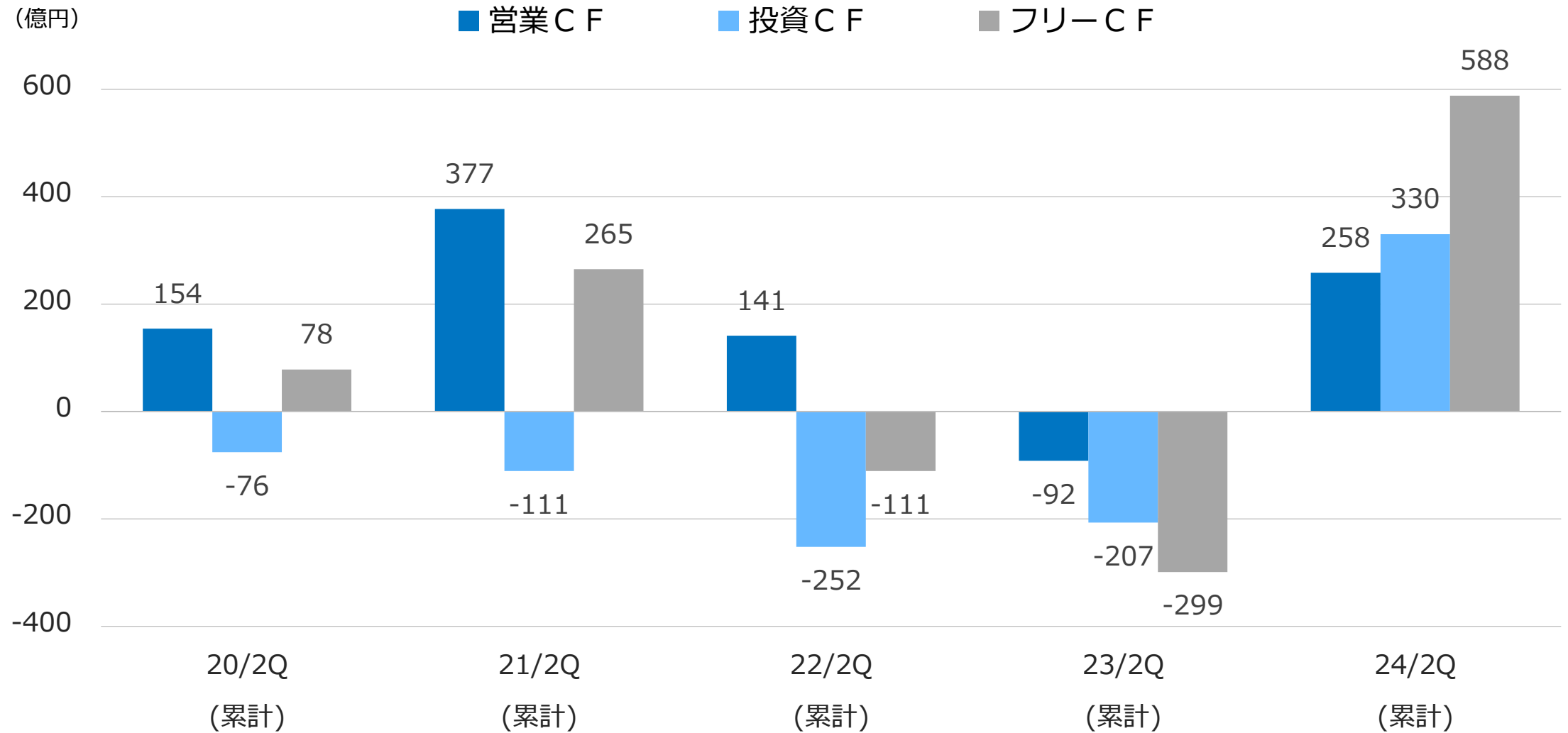


# 設備投資・減価償却費の見通し

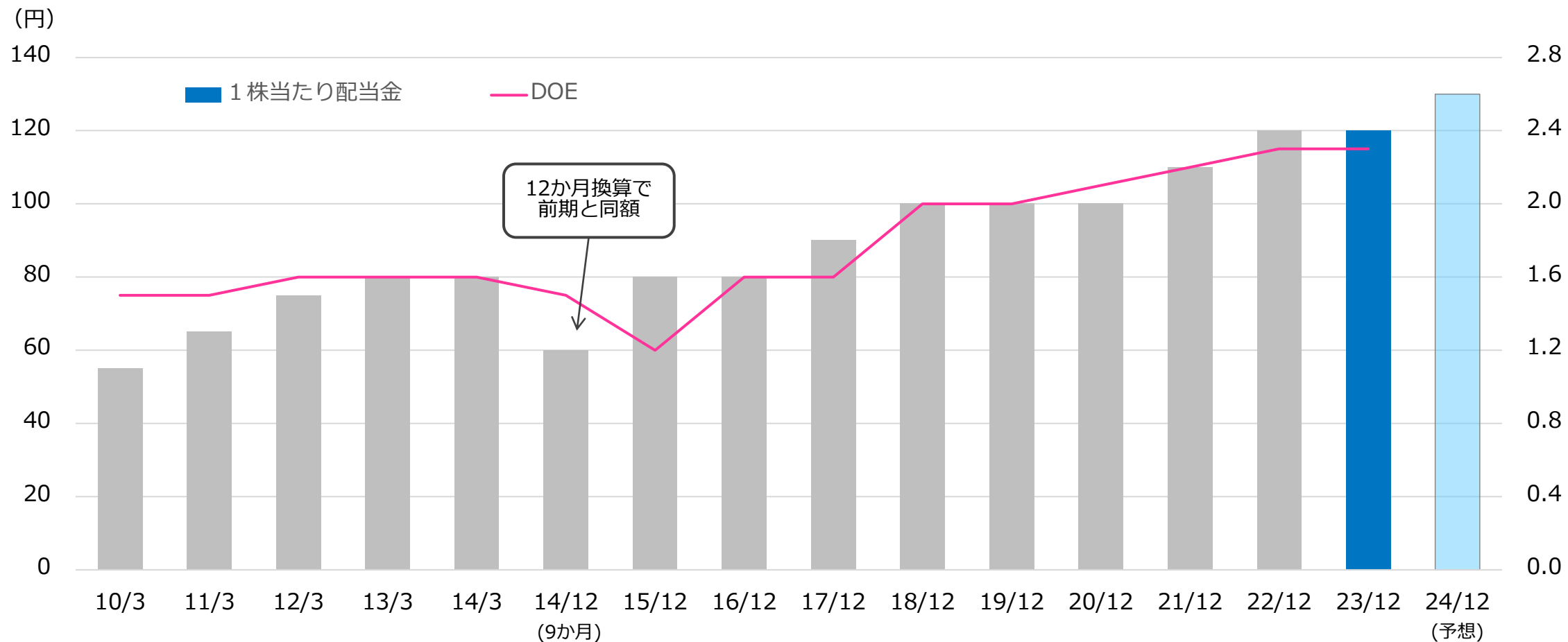
設備投資	24/12期 上期実績229億円、通期300億円程度（完工ベース） カーボンニュートラル対応（全電気溶融技術の展開等）、戦略事業の拡大、プロセスの自動化・省人化対応、定期修繕ほか
減価償却費	24/12期 上期実績142億円、通期280億円程度



# キャッシュフローの推移



## 20年以上にわたり減配なく、配当を維持又は増配中



(注) 2017年7月1日に、5株につき1株の割合で株式併合を実施。各期を比較しやすいよう株式併合による影響を遡及して調整の上記載

## 全固体ナトリウムイオン二次電池のサンプル出荷を開始

(2024年2月20日公表)

- 3V 200mAhが標準となるサンプル製品を出荷
- 宇宙、海洋など過酷な条件下での利用、定置用、電子回路基板への組み込みなどへの用途を想定
- 2024年内に販売開始を予定



公表日	タイトル
2月1日	令和6年能登半島地震に対する支援について
5月27日	日本電気硝子「将来世代応援企業賞」を受賞
6月5日	ガラスセラミックスコア基板「GCコア™」を開発
7月25日	マレーシアで太陽光発電によるVPPA（仮想電力購入契約）を締結

## 主要な事業内容

### 電子・情報

ディスプレイ  
液晶ディスプレイ用ガラス  
有機ELディスプレイ用ガラス  
化学強化専用ガラス<Dinorex®>

電子デバイス  
半導体プロセス用ガラス  
L T C C 製品  
機能性粉末ガラス  
イメージセンサ用板ガラス  
小型電子部品用管ガラス  
光エレクトロニクス用ガラス  
蛍光体ガラス<ルミファス®>

### 機能材料

複合材  
機能樹脂強化用チョップドストランド  
建築材料用ウェットチョップドストランド  
樹脂強化用ロービング  
自動車用チョップドストランドマット  
セメント強化用耐アルカリ性ガラスファイバ

医療  
医薬用管ガラス  
放射線遮へい用ガラス<LXプレミアム>

耐熱  
超耐熱結晶化ガラス<ネオセラム>  
調理器トッププレート用超耐熱結晶化ガラス<StellaShine®>

建築  
防火設備用ガラス<ファイアライト®>  
ガラスブロック  
結晶化ガラス建材<ネオパリエ>

その他  
照明用ガラス  
ガラス製造機械

## 会社概要

社名 日本電気硝子株式会社  
Nippon Electric Glass Co., Ltd.

本店所在地 〒520-8639  
滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

創立 1949年12月1日

代表者 取締役会長 松本元春  
社長 岸本暁

資本金 32,155百万円

従業員数 連結 5,619名 (2024年6月末)

事業内容 特殊ガラス製品及びガラス製造機械の製造販売

事業場 大津、滋賀高月、能登川、精密ガラス加工センター

営業所 大阪、東京

連結子会社 国内 10社  
海外 14社  
(マレーシア、韓国、中国、台湾、欧州、米国)

## 予想に関する留意事項

- ◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。
- ◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

NEG

日本電気硝子

(お問い合わせ)

日本電気硝子株式会社  
総務部広報・IR担当

TEL : 077-537-1702 (広報・IR担当直通)  
<https://www.neg.co.jp>